

# ぬまた 市議会だより

第58号

6月定例会

令和2年  
8月1日

いま 最前線で働く  
心から 感謝

医療関係者の皆さんに  
ありがとう!

高さ 6.7m

新型コロナウイルス感染症から大切な命を守るために



沼田市議会HP

## 主な内容

- ・P2～3 コロナ関連
- ・P4～5 6月定例会ほか
- ・P6～11 一般質問
- ・P12 行政調査報告



新しい沼田へ



# 市民生活を守るための対策を!!

## 3常任委員会から

### 市に提言書を提出

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「緊急事態宣言」の対象地域が全国に拡大される中、沼田市議会では、3常任委員会がそれぞれ提言書を市に提出しました。

安心・安全な市民生活を維持することや、医療崩壊の防止、事業者の事業継続を支える資金や物品の支援等、今後、沼田市として特に取り組んでいくべき重要な35項目の提言を各常任委員会に取りまとめ、市長に提出しました。

### 各委員会の提言内容(要旨)

#### 総務文教常任委員会

- ・感染者等の風評被害等の防止と情報提供
- ・新型コロナウイルス感染症対策専門部署の設置
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る利活用計画の早期策定と効果的活用

・小中学校のカリキュラムの再編検討

#### 民生福祉常任委員会

- ・発熱外来、PCR検査の設置
- ・児童手当及び児童扶養手当などの支給にあわせた、市単独の支援助成
- ・マスク、消毒薬の確保と供給
- ・陽性患者やその家族、また医療機関や従事職員などに対する差別や偏見の防止

#### 経済建設常任委員会

- ・店舗へ客を集めない形態の販売方法の導入を奨励し、支援サイトやSNSの活用など、市民が売り上げに協力できる体制づくり
- ・中小企業経営振興資金融資のさらなる拡充
- ・派遣、パート等の雇い止めを行わないことや賃金の補償を行うよう企業に要請
- ・経営・融資に関するワンストップの相談窓口の設置、能動的な相談体制・マッチング体制の整備



経済建設常任委員会  
(4月24日提出)

民生福祉常任委員会  
(4月28日提出)

総務文教常任委員会  
(5月1日提出)



備蓄マスク配布で施設のコロナ対策

議員報酬など846万円をコロナ支援の財源に  
新型コロナウイルス感染症に関連して執行機関において実施する、医療・介護現場への支援をはじめとする各種施策の財源の一部を確保するため、議員報酬及び他自治体の先進事例等を調査する行政調査に係る旅費、合計845万9千円の減額を決定しました。  
6月定例会で、議員報酬を削減する条例を全会一致で可決したため、次回9月定例会で減額補正する予定です。

新型コロナウイルスの影響から

沼田市の

# 市民の生活を守る!! 色々な事業

## 学生緊急支援給付金

平成16年4月1日以前に生まれた高校生に1万5千円、大学生や専門学校等に在籍する学生に3万円を給付します。

※申込み  
8/31まで



## 出産応援給付金

特別定額給付金の基準日以降(4月28日~7月31日)に生まれたお子さんに10万円を給付します。

※申込み  
8/31まで



## 子育て世帯への臨時特別給付金

国の子育て世帯への臨時特別給付金の支給対象者に、5千円を加算して支給します。

※手続きは  
必要なし



## 給食費の負担軽減

就学援助家庭に休校中の給食費相当分を支給します。また、長期休暇中の登校日の給食費を市が負担します。



## 経営支援助成金

国の「持続化給付金」対象外となる売り上げ30~50%減の中小企業・個人事業主に10万円を給付します。

※申し込みは、  
7月31日で  
終了しまし  
た。



## 中小企業経営振興 資金融資の拡充

セーフティネット保証認定等を受けた場合、中小企業の運転資金を支援する「中小企業経営振興資金」の支払子の全額を5年間、市が補給します。



## 第1弾!!

### withコロナ チャレンジ支援金

長期化が想定される新型コロナウイルス感染症の影響下において、「新しい生活様式」に対応した事業形態にチャレンジする事業者に5万円を給付します。

※6月26日~9月30日まで

### 宿泊事業者緊急支援金

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みや、安全対策、情報提供などを行う宿泊事業者を支援します。

※2月から11月までに実施した事業を対象に、収容人数に応じて5万円~50万円を支給

## #沼田おうち時間 プロジェクト

飲食テイクアウト対応店、布マスク販売店など、おうち時間を楽しくする沼田のお店を市ホームページで紹介しています。

※現在93店舗登録



## クラウドファンディングにご協力を

ふるさと納税の仕組みを活用して、このプロジェクトを支援して下さる方を募集しています。上記事業や、今後、実施を予定している第2弾、第3弾に使われます。

皆さんの温かなご支援をよろしくお願いいたします。

寄付金募集HP

各事業の詳しい内容やこの他の支援事業等は市ホームページをご覧ください。  
国の第2次補正予算が成立し、地方への交付金が拡充されます。今後も市民生活を守る事業に取り組みます。

# 6月 定例会

6月定例会は、6月9日に開会し、6月19日までの11日間、コロナウイルス感染症対策のための専決処分報告、令和2年度補正予算、議員報酬削減などの条例改正、人事など計31件を審議しました。一般質問は、10人が行い、コロナウイルス感染拡大防止対策をはじめ市当局と活発な議論を展開しました。

## 市営住宅をリニューアル、生活しやすい室内設計に

東下原団地建築改修工事（B棟）請負契約の締結について審議しました。契約額は、1億9,800万円です。



きれいに改修された東下原団地A棟（昨年度改修）

## 旧市庁舎を解体、活用へ

長年、沼田市民に親しまれた旧庁舎の解体工事請負契約の締結について審議しました。契約額は、2億2000万円です。



解体工事が始まった旧庁舎

テラス沼田に移転後の旧庁舎は、来年1月7日までに解体され、跡地にはホテルが建設される予定です。宿泊需要への対応や観光振興、市内活性化が期待されます。



感染症対策で座席間隔を開けて定例会を開催

## 沼田市議会が

## 議会改革度調査県内3位に

早稲田大学議会改革調査部会による「議会改革度調査2019」で、沼田市議会が総合順位全国111位、県内3位にランクインしました。

「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の視点で調査がされており、県内12市中では2位と高い評価がされました。

あくまでも目安ですが、近年の議会活動が評価されていることを強く自覚し、これからも市民に開かれた議会を目指して、議員一同努力し続けます。

## 常任委員会

## 沼田市議会初。経済建設常任委員会が行政調査提言

経済建設常任委員会から、「農業振興とまちづくり」に関する政策提言書を市長に提出しました。

令和元年度、経済建設常任委員会は、愛知県瀬戸市と小牧市へ農業政策、中心市街地の活性化などの行政調査を実施。調査結果を今後の沼田市政の向上に役立てる目的で、所属議員で勉強会を重ね、提言書をまとめ、6月29日に市長へ提言書を提出しました。

行政調査の提言は、沼田市議会では初の取り組みになります。



提言書を市長へ

## 新型コロナウイルス感染症対策費 補正予算により追加

6月定例会で専決処分報告及び補正予算案が提出され、以下のコロナウイルス感染症対策が追加されました。

### 【子育て支援関連】

- ・児童手当受給者へ国の1万円支給事業に5千円追加支給
- ・児童手当対象外の学生に1万5千円から3万円支給
- ・保育園副食費の5カ月無料化
- ・4月28日から7月31日の間に誕生した新生児に10万円支給

### 【感染拡大防止】

- ・マスク、消毒液等の医療材料を追加措置、医療機関支援
- ・図書除菌装置設置
- ・災害避難所用簡易テント購入
- ・群馬テレビで沼田市独自情報発信

### 【減収事業者支援】

- ・経営支援助成金として、前年度比減収率30%以上50%未満の事業者へ10万円支給
- ・沼田マルシェオンラインの設置（HPを開設して特産品、物産等の販売を支援）
- ・沼田おうち時間プロジェクト（飲食店の来客減少に伴い、

テイクアウト等のサービスを開設した事業者の支援）

- ・ウィズコロナチャレンジ支援事業（コロナ対策を実施している事業者を支援）
- ・宿泊事業者緊急支援金

### 【教育環境整備】

- ・各小中学校への感染症対策の強化に伴う衛生機器、消耗品等を整備
- ・小中学校給食費の公費負担（休校中の給食費）

### 補正予算で

### 児童生徒用情報端末整備

国のギガスクール構想により、本年度中の児童生徒用情報端末の整備を決定しました。このほか、テラス沼田1階多目的ホール用備品、上下水道課移転、皇海山登山口トイレ撤去、市営住宅十三割団地道路改良工事などの補正予算を議決しました。

### 補正予算に反対（一部抜粋）

上下水道課をテラス沼田4階の都市建設部内に移転させる予算について、コロナウイルス感染症禍の中、まさに不急です。来年度の当初予算に改めて計上すべきです。

## 議会改革特別委員会

### 議員定数及び常任委員会・委員数の適正化

議長を常任委員会に所属させる方向で検討し、委員数の適正化を図りながら、定数減員の検討を進め、早い段階での決定を目指しています。

### 議会報告会、意見交換会等の広報広聴活動

予算・決算議会終了後に、年2回のプレゼンテーションを主体とした報告会を実施することなどを検討しています。

### 常任委員会・委員協議会のあり方及び発言制限

基本方針として、今後は毎月常任委員会を開催し、今までの協議の場としていた委員協議会は廃止せず、任意の開催とするほか、本会議における議員の権限を一部制限していた慣例をやめるよう検討しています。

## 人事案件

### 人権擁護委員の推薦（諮問）

佐藤 豊子（再任）  
このほか、農業委員会委員15名の任命について同意しました。

## みんなの声



議会だよりにご意見をいただきましたので、疑問・ご意見にお答えします。

**Q** 議会だよりが一昨年からカラー化されて見やすくなりました。紙もきれいなものに変わっています。カラー化して紙も変わって、お金がかかるようになったのでは？

**A** いつも議会だよりをお読みいただきありがとうございます。カラー化に伴い、発行費用が高くなったのではということですが、変更時に印刷業者と話し合い、指定の用紙であれば、今までと同じ単価で発行できることになりました。

**Q** 議会がインターネット中継で見られるようになりましたが、仕事中で見られません。なんとかありませんか？

**A** 当日のライブ配信のほかに、おおむね一週間後から録画映像を配信しています。昨年9月からの映像も見られますので、ぜひご覧ください。

今後も皆様からのご質問・意見をお待ちしています。

# 市政を問う！

## 一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞くのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

中村 浩二	地域の活性化の整備等施策の推進！
金子 浩隆	新型コロナウイルス感染禍から市民を守る
星野 妙子	沼田市に配偶者暴力相談支援センター設置を
桑原 敏彦	コロナ終息後の経済復興と今後のまちづくり
大東 宣之	公共施設管理計画、地域医療、学校教育
三ツ石岩男	新型コロナウイルスに伴う沼田市の課題
井上 弘	新型コロナウイルス感染症とどう向き合う
高柳 勝巳	新型コロナ感染症対策の検証と今後の方向性
井之川博幸	市内全事業者を守るため損害に応じた補償を
星野 稔	旧市役所庁舎跡地と中央公民館のあり方

**スマホから議会を見よう！**  
**議会インターネット中継**  
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継  
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

### 地域の活性化の整備等施策の推進！

中村 浩二



**Q**再生可能エネルギーの利活用の推進について伺います。

**A**運転を開始した太陽光発電所が順調に稼動しており、現在、新たに計画している小水力発電も令和5年度の発電を目指し、事業を進めているところです。

**Q**大原交差点改良工事及び市道T106号線改良工事の今後の取り組みについて伺います。

**A**県が実施している国道120号大原工区は、令和5年度の完成に向け、用地が確保された箇所から工事に着手していくと聞いています。市道T106号線は、老神側から改良工事を行い、令和3年度の事業完了に向け事業の推進を図っていきたく思います。



小水力発電に利用予定の追貝平用水

**Q**市道T106号線改良工事に伴う物件等による観光等への利活用について伺います。

**A**誘客に有効となる看板や街路灯は、今後、地元観光協会等も含め検討を図っていきたく思います。

**Q**老神地区の内架橋補修工事の今後の取り組みについて伺います。

**A**補修工事には多額の費用が必要になりますが、令和2年度から2か年程度で補修工事を実施していきたく思います。

**Q**野生鳥獣被害対策等による農地保全について伺います。

**A**捕獲従事者の負担軽減を図るため捕獲に必要な罟等の資材の支給を行い、今後の捕獲強化につなげていきたく思います。また、鳥獣被害を受けた農業者には野生鳥獣被害対策の専門家による現地での直接指導により、安心感と対策意欲の向上も見られています。

# 市政を問う!!

## 新型コロナウイルス感染症から市民を守る

金子 浩隆



## 沼田市に配偶者暴力相談支援センター設置を

星野 妙子



【Q】新型コロナウイルス感染症から市民の命、生活、経済を守る。その財源を確保すべく、不要不急の予算を振り分け、どうしても今年度中に執行すべき事業以外は、節約、中止、延期など見直しなくてはなりません。

①観光宣伝事業・群馬DC

②海外販路促進事業、起業塾

③中心市街地土地区画整理事業

④フュッセン市姉妹都市交流事業

業について考えを伺います。

【A】①緊急事態宣言が解除され、今後、県境をまたいだ往来などの自粛が緩和されていくと考えられ、国や県の動向を注視していくとともに、中止となり執行予定のない予算の減額や、今後必要となる予算の補正等しっかりと検討していきたいと考えています。

②販路開拓や起業に意欲のある方々を支援する施策は、経済活性化を図るため、オンラインの活用や感染症対策を講じながら、実施したいと考えています。

③中心市街地土地区画整理事業は、社会資本整備総合交付金を特定財源として、計画的に事業を実施しており、その進捗は、権利者の生活再建に大きな影響を与えるものです。計画されている事業を予定どおり進めたいと考えています。

④今年9月には姉妹都市提携締結25周年を迎えますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本市からの公式訪問は、1年延期の調整をしています。

【Q】県振興局を避難所として使用する県との契約、協定は締結できているのでしょうか。

【A】本年3月23日、災害時における避難場所の使用に関する覚書を利根沼田行政事務所長と取り交わし、指定緊急避難場所として使用が可能になりました。

知らないうちに、拡めちゃうから。



**STOP!**  
**感染拡大**  
— COVID-19 —

【Q】感染予防対策として「密閉・密集・密接」の3密を考慮した新たな避難所運営と分散避難について伺います。

【A】避難所での感染防止対策の重要性を再認識しました。避難所受付では検温と体調確認後に収容と配置を決定し、避難所には簡易型避難用テント設置の対応を考えています。ホテル等を借り上げる分散避難は、課題も多く、まずは公共施設を活用した分散避難により対応を図っていきたく考えています。

【Q】避難所における感染防止を考慮した資材・備蓄品の見直しと備蓄数について伺います。

【A】現時点での市全体の備蓄状況は、簡易型避難用テント93基・マスク約10万枚・フェイスシールド1,000個・非接触型体温計104基・消毒液540リットル・防護服1,000着で、今後も必要な物資・資材の確保に努めていきたいと考えています。

【Q】全ての児童・生徒が平等な通信回線環境下でオンライン学習ができる学習環境の整備と対応について教育長に伺います。

【A】市内小中学生の全ての家庭を対象にオンライン学習ができる環境の調査を行い、3分の1程度が家庭で整っていないことがわかりました。今後、通信回線環境を整える支援の検討と効果的な授業を研究し、準備を進めたいと考えています。

【Q】配偶者からの暴力に係わる相談・保護を支援する「配偶者暴力相談支援センター」の早急な設置について伺います。

【A】現在、市民協働課で対応し、県の女性相談所、市内NPO法人と連携しています。設置については、状況を精査し、研究していきたいと考えています。



## 一般質問

## コロナ終息後の経済復興と今後のまちづくり

桑原 敏彦



Qふるさと沼田の観光業復興のため、準市民など縁のある方へ案内を送付し、一部の旅費等を負担、企業と連携して呼び掛けしていく「ふるさと沼田・里帰り観光」の実施について伺います。

A自粛が解かれたときに、最初の旅行先にふるさとを選ぶ人も少なくないと思われます。今後、国が行う旅行商品の割引キャンペーン等に合わせ、準市民の方々への案内を行うなど、誘客を図っていきたいと考えています。

Q地方において外国人材の労働力が遮断された時に備え、地域間や異業種間での仕事の連携組織を作るべきです。

A従業員を休職させざるを得ない事業者と、人材を必要とする事業者が連携し、双方の経済活動の継続、雇用の維持が図られるようマッチングされること、解決の糸口になると捉えています。関係機関と課題を共有しながら、情報収集と調査研究を進めていきたいと考えています。



たんばらラベンダーパーク

Qコロナ感染症の影響で地方に転職したいという意識が都市部の若者に広がっています。沼田市にとって、企業や人を呼び込めるチャンスかもしれません。企業誘致の促進と人材が集まる環境づくりについて伺います。

A都心へのアクセスが良く、豊かな自然環境に恵まれた地域の特性は、交流人口の増加、企業誘致の推進にとって大きなアドバンテージになり得るものです。今後の事業実施にあたっては、本市の特性を積極的に活用していきたいと考えています。

※その他の質問

- ・近県と連携した地域内観光
- ・健康増進を観光へ など

## 公共施設管理計画、地域医療、学校教育

大東 宣之



Q廃止対象となっている施設の利用者等への説明、要望の反映、活動の場の確保はどのように検討されているのか伺います。

A所管課において利用団体等への説明や聞き取りを行い、現在利用している施設の機能は、新たな施設に移転、集約をすることにより活動の場を確保していく予定です。

Q第8次群馬県保健医療計画の影響等についてどのように考えているのか伺います。

A沼田保健医療圏の令和6年度の基準病床数は、現在の病床数の68パーセントで設定されていますが、整備すべき病床数という考え方で削減を要求されるものではないです。既存病床数の維持について県に要望していきたいと考えています。

Q新型コロナウイルス感染症に対処するための新たな対応をすすめ、感染症対策を今後どのようにすすめるのか伺います。

A沼田市新型インフルエンザ等

対策行動計画による対応を行っており、現状に沿った内容の見直しを図り、適切な対応ができる体制整備を研究していきたいと考えています。

Q新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病院に対し、どのような支援を行うのか伺います。

A不足している物資の提供や風評被害の抑制、コロナハラスメントの対応等、できる限りの支援を行っていきたいと考えています。

Qこれからの学校教育、行事について教育長に伺います。

A感染及びその拡大のリスクを低減しつつ、学びを保障していくことが重要と考えています。2学期には、運動会、文化祭、修学旅行なども予定されており、今後の状況をしながら実施を検討することになります。





# 市政を問う!!

## 新型コロナウイルスに伴う沼田市の課題

三ツ石 岩男



Q 沼田市で安心して出産できる体制と乳幼児等への支援について伺います。

A 現在、市内で分娩可能な医療機関は利根中央病院のみであり、この機能を継続させるためにも同病院でのコロナ患者の受け入れについては配慮いただきたく、群馬県にお願ひしてきましたが、緊急的なコロナ対策の対応が優先された経過があります。

これまで周産期医療の危機的状況を県や国に訴え、医師の確保について要望を行ってきましたが、今後、感染症対策との分離についても引き続きお願ひしていきたいと考えています。

Q 保育園児、幼稚園児その他の施設、保護者の支援について伺います。

A 公私立保育園・認定こども園、公立幼稚園に対しては、国の新型コロナウイルス感染症対策のための保育対策総合支援事業費補助金等を活用して、感染拡大防止対策に必要な空気清浄機や

消毒液、体温計等購入のための補助を行い、また、市の備蓄品及び寄付や群馬県から配布のあったマスク、非接触型体温計の配布を行いました。

Q 小・中学生の支援について、第2波が来た時の学童支援の対応について伺います。

A 仮に第2波が来た時には、国や県の動向を確認しながら、必要な支援を検討していきたいと考えています。

※その他の質問

- ・ 今後の沼田市の経済について
- ・ 観光事業について
- ・ 農業者支援について
- ・ 総合支援について



## 新型コロナウイルス感染症とどう向き合う

井上 弘



Q 今後新型コロナウイルス感染症とどう向き合い、対策をどう行っていくのか伺います。

A 「新しい生活様式」を市民の日常生活に取り入れてもらい、感染予防を第一としつつ、社会経済活動との両立を図れるよう、対策を講じたいと考えています。また、第2波、第3波に備え、

市民が生活の切り替えなど適切に対応できるよう、正確な情報収集、迅速な情報提供を行っていききたいと考えています。

Q 市内小中学校が一斉に休校となり、3か月が経ちました。学習の遅れをどのように取り戻すのか教育長に伺います。

A 授業日数を確保するため、長期休業日等における授業日を10日間予定しています。また、各小中学校は、県教育委員会から示された「令和2年度年間指導計画を見直す際の参考資料」を参考にして年間で指導する内容や時間数等を見直し、児童生徒の過重負担を考慮しながら新た

な学習計画を立てています。

Q 就学援助を受けている要保護・準要保護家庭への支援はどうか行われたか教育長に伺います。

A 収入が減ってしまう家庭が想定されたため、臨時休業中に新たに「就学援助の申請のお知らせ」を全家庭に配付しました。その結果、新たな申請が上がっており、現在手続きを進めています。また、4月、5月については、各家庭からは給食費を徴収していませんが、準要保護家庭には、援助している給食費分を支給する予定です。



学校での新しい生活様式  
(先生の指導で給食準備前の消毒)

# 一般質問

## 新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の方向性

高柳 勝巳



**Q**緊急事態宣言の大きな目的の一つは、ICUやエクモといわれる最新型の機械が利用・使用可能な医療体制を崩壊から防ぐためであり、利根沼田地域においても発熱外来・PCRセンター設置は、必須と考えていましたので、この設置は率直に喜びたいし、関係者の努力にも感謝を申し上げます。

**Q**今後の課題は、感染が疑われる人の優先順位の振分け、役割分担等による医療関係者の加重負担軽減が上手くいくか否かに掛かってくると考えています。現在、このセンターがこの役割をしっかりと担い、今後の状況へも対応が順調に推移していくのか伺います。

**A**5月18日から沼田利根医師会の協力により「発熱外来兼地域外来・検査センター」が開設されています。

かかりつけ医が患者の重症度を判断し、「帰国者・接触者相談センター」へ相談が発熱外来



次亜塩素酸水を配布

受診かの振り分けを行い、保健所や「帰国者・接触者相談センター」の負担軽減につながる。ともに、発熱外来ではその場でPCR検査が可能であり、患者の負担も軽減されています。さらには、防護体制の整っていない医療機関への受診による院内感染の防止や地域住民の安心につながっており、市としても順調に運営できるよう支援していきたいと考えています。

## 市内全事業者を守るため損害に応じた補償を

井之川 博幸



**Q**新型コロナウイルス感染症拡大の経済的影響と対策及び今後の対応について伺います。

**A**本市においても、多くの業種に甚大な影響が出ているものと認識しています。国や県の施策に併せ、地域の実情に応じた自治体の独自施策も必要となり、関係各団体等とも連携し、更なる経済対策について検討しなければならぬと考えています。

**Q**大きな打撃を受けた今回の状況に対して、現在行われている経済対策の効果をどのようにとらえているのか伺います。

**A**本市では、「中小企業経営振興資金融資」を拡充し、利子の



コロナに関する経済対策を陳情する市内事業者

全額を5年間補給、テイクアウト・デリバリー事業者の周知、タクシール業者を活用

した宅配サービス、「経営支援助成金」を交付しています。効果を現時点で計るのは困難です。

**Q**市内の全事業者の経営を守るためにも、収入の減額に応じた「補償制度」が必要ではないか。

**A**国の持続化給付金(個人百万円、法人二百万円)制度のほか、市独自で「経営支援助成金」10万円を交付しています。

**Q**「テレワーク」が拡大・定着することによる田舎暮らし要望に対応した転入・移住の促進施策の強化について伺います。

**A**情報収集に努めるとともに、一層の事業促進を図っていききたいと考えています。

**Q**教育現場の厳しい状況に対応していくための教師等の増員について教育長に伺います。

**A**『学びの保障』のため、教員の加配、学習指導員やスクールのサポート・スタッフの追加配置が示されました。各学校の実態や要望等を把握し対応していきたいと考えています。

# 市政を問う!!

## 旧市役所庁舎跡地と中央公民館のあり方

星野 稔



**Q**旧市役所庁舎跡地は、沼田市にとって戦略上もつとも重要な土地で、多岐にわたる活用が可能な資産であると考えています。市民の将来にとって真の有効活用とは何か、伺います。

**A**昨年度、跡地活用の提案を募集し、「宿泊施設を核とした市街地活性化事業」を採用。基本協定書を締結し、公民連携により事業を進めているところです。地域経済への影響が多大であることに加え、本市への財政貢献度も高いことから、真に有効な活用方法とを考えています。

**Q**厳しい状況を沼田市・事業者双方が認識した場合、ホテル建設計画の中止は可能か伺います。

**A**新たな宿泊施設建設は、本市経済の活性化のみならず、アフターコロナの代替医療施設としても大変重要と考えますので、本市から計画中止を発議する用意はなく、事業者からも協議の申し出はありませんので、計画を中止する考えはありません。

**Q**中央公民館の取り壊しの方針は反響が大きく、公共施設等総合管理計画の進め方と市民活動を大切にすまちづくりの両立の難しさを痛感しています。市民の文化活動と生きがいの場としての中央公民館のあり方について伺います。

**A**中央公民館は、計画の第1期アクションプランにおいて優先検討施設として位置付け、FM推進会議で「機能移転による廃止」を決定し、令和3年度中の取り壊しに向け準備を進めています。中央公民館の機能移転は、テラス沼田、保健福祉センターを核として、存続する公共施設において、

できる限り現在の利用者の活動が継続できるように検討していきたいと考えています。



中央公民館

### 令和2年第2回6月定例会賛否状況 (専決処分報告を除く)

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				星野 妙子	金子 浩隆	高柳 勝巳	三ツ石 岩男	山宮 敏夫	茂木 清七	永井 敏博	桑原 敏彦	中村 浩二	井上 弘之	大東 宣之	井之川 博幸	野村 洋一(議長)	島田 康弘	大島 崇行	高山 敏也	戸部 博二	久保 健二	星野 稔	星野 佐善太
議案	第44号	東下原団地建築改修工事（B棟）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第45号	沼田市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第46号	沼田市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第47号	沼田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第48号	沼田市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第49号	沼田市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第50号	沼田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第51号	令和2年度沼田市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第52号	令和2年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第53号	令和2年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第54号	令和2年度沼田市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第55号	令和2年度沼田市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第56号	沼田市固定資産評価員選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第57号	沼田市農業委員会の委員任命の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第58号	旧庁舎解体工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第59号	動産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号	新沼田市学校給食センター新築工事（給排水衛生設備工事）請負契約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	沼田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者、-…欠席または退席

# 行政調査

## 報告

沼田市議会では、毎年、委員会とともに先進自治体等の行政調査を実施しています。  
経済建設常任委員会で昨年度の調査を基に提言書を提出したので調査結果と提言を掲載します。

### 経済建設常任委員会

経済建設常任委員会は、愛知県瀬戸市と小牧市で農業政策、中心市街地の活性化などを調査し、政策提言を行いました。

瀬戸市では瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク構想を調査。6次産業化の推進による新たな産業の創出や地域資源を活用した観光戦略など、農業政策の基盤となる構想で、行政や市民、NPO、企業等が連携して



愛知県小牧市でまちづくりを調査

農業政策を推進していました。小牧市の地域ブランド戦略は、活気あるまちとして存続し、市民に住民が続けてもらうために、まちへのプライドを一つでも持つてほしいと、地域を調査し地域そのものをブランドとしていました。中心市街地にぎわい創出事業は、商工会議所の外部組織として、にぎわいを創出する団体を設置。市は、オプザーバーとして参加し、商店街や付近の事業者、市民活動団体等が中心となって活動。市民主体のまちづくりを進めています。

### 農業振興とまちづくりに関する政策提言書（抜粋） 農業政策を積極的に展開する体制づくり

一、農業振興を支援する体制を構築するため、サポートの強化、遊休農地対策や人材育成、販路拡大、有害鳥獣対策

を積極的にを行うこと

一、ブランド化による付加価値創出や市内観光農園と連携し農産物のオンライン販売の充実、農産物の陳列方法を見直し購入意欲の向上を図ること  
**市民が住み続けたいと思えるまちの創造**

一、沼田市民の市に対する「愛着や誇り」などについて調査を行い、把握した結果を知らせること

一、調査をもとに、市民の「愛着と誇り」を醸成し沼田市地域ブランドを醸成すること  
**中心市街地のさらなる活性化**

一、円滑な事業進捗に努め、適時適切な説明等を行うこと  
一、にぎわいを創出しようとする活動や空き店舗等の利用に對して積極的に支援すること  
一、中心市街地の各種団体の統一化に向けた動きがある際は支援すること

### 次回定例会の日程

次回定例会は、9月1日（火）からの予定です。  
インターネット中継も行っています。



### 編集後記

最初は、正体も対応もまったく分からず、自覚症状もありません。強力的な感染力を持ち急激に重症化してしまう新型コロナウイルスは、私たちにとって、ただ恐ろしいだけの存在でした。ふと幼少期の「お化け屋敷の恐怖」に、この新型コロナウイルスは似ているなと感じました。真っ暗で部屋全体が見渡せない。お化けがいつ出て来て、何をされるかも分からない恐怖…。

しかし、疫学や医療関係者の昼夜を問わない研究とデータの蓄積により、少しずつこのウイルスの特性や正体が明らかになってきました。治療薬やワクチンが普及し、このウイルスがインフルエンザと同等の感染症となる日も遠くないはず。もうしばらく市議会も皆さんと共に闘います。

必ず来る「ポスト・コロナ」その日まで！  
編集委員 高柳 勝巳

議会だより編集委員会  
委員長 井上 弘  
副委員長 星野 妙子

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 高山 敏也  
山宮 敏夫 大東 宣之 戸部 博